

令和5年度 「極意」伝承道場

【令和4年度 指導者の言葉より】

子どもはその子なりに伸びていく。
自身が**学ぶ**ことで、子どもの成長を「待つ」ことができます。
その子の姿から支援のヒントをもらい、その子に伝わる表現を探し、
よき伴走者でありたい。共に学び続けましょう。



「極意」伝承道場は、目の前の子どもたちに還る学びを提供します



Q1: 参加申込みは、どのようにすればよいですか？

A: 講座案内の左上にQRコードをタブレットかスマホで読み込むと「参加申込書」が表示されますので、必要事項を選んで、最後に送信を押してください。パソコンから申込みをされる方は、「信濃教育会ホームページ→講習・講座→『極意』伝承道場」で入っていただき、お申し込みください。いずれの場合も申込みいただいたメールアドレスに申込み確認メールを送信します。ご不明な点は、下記「問合わせ先」にご連絡ください。

Q2: 「極意」伝承道場の魅力は何ですか？

A: 昨年度の受講者からは「指導者から学べること」「指導者に自分の取組について相談できること」「受講者同士が教育について議論できること」「年間複数回同じメンバーで和気藹々とした中にも、真剣に、貪欲に学ぶことができること」「今後もつながりがもてること」などがよさとして挙がっています。

Q3: すべての回に参加できないと申し込みはできませんか？

A: 参加できない回があっても、申し込みはできます。欠席する回については、指導者にご相談ください。

Q4: 指導者が中学校の先生ですが、小学校の先生が受講を申し込んでもよいでしょうか、教科等の専門外でも申し込んでよいでしょうか？

A: 小学校中学校の学びのつながりの理解を深める意味でも大切なことだと考えます。申し込んでいただいて構いません。校種や専門性という縛りより、講座内容を大切に考えて、自分が学びたい講座を決めてお申し込みください。

Q5: 定員が1講座5名程度となっていますが、6名以上になると抽選になりますか？

A: 応募者が6名以上になった場合は、指導者と相談させていただき、なるべく受講者を受け入れていただきます。令和4年度は受講者が9名の講座もありました。あまり多すぎる場合は信濃教育会が責任をもって抽選をさせていただきます。

Q6: 受講者が自分の授業を指導者に参観していただくことはできるのですか？

A: 受講者の学校で「極意」伝承道場を開催して、その際、受講者の授業を参観していただくことも可能です。指導者にご相談ください。

Q7: 二つの講座に申し込むことはできますか？

A: 学びを深めたいというお気持ちは理解できるのですが、一つの講座に絞っていただければと思います。

Q8: 受講したい講座の指導者が自分の学校の先生です。参加申込みはできますか。

A: できます。校長先生や指導者の先生に話をさせていただくとスムーズにいくかと思います。

Q9: 「こんな先生におすすめ」と書いてありますが、その条件に沿わないと参加申込みはできませんか？

A: 「おすすめ」は目安ですので、参考にさせていただくというだけで書いてあります。この条件に当てはまらない先生方も申込みいただけます。様々な年代の先生方が同じ講座にいるというのは、ある意味すごい強みだと思います。

Q10: 参加申込書にある「メールアドレス」「校長先生に参加申込みをすることは伝えましたか」はなぜ必要なのですか？

A: 「メールアドレス」は指導者に伝え、連絡を取ることにのみ使用します。また「メールアドレス」は信濃教育会と受講者が連絡を取る時にも使用させていただきます。受講者の情報は本講座以外のためには使用しません。「校長先生に参加申込みをすることは伝えましたか」は、今後、「極意」伝承道場へ参加する上で校長先生に知っていただいた方がよいと思いますので、申込み前に必ずお伝えください。

Q11: 「極意」伝承道場の開催日はどのように決まるのですか？

A: 5月25日（木）15:40からオンラインで全体会を行います。その折に指導者から開催日を含めた内容の提案があります。最終的には指導者と受講者の合意で決めていただきます。受講者は5月25日（木）の会には必ず出席してください。

Q12: 令和4年度の「極意」伝承道場の実績を教えてください。

A: 令和4年度は、14名の指導者で合計で67名の受講者で開催しました。各講座は年間3回から7回の開催でした。新型コロナウイルスで中止になってしまった回がありました。年度末に受講者に感想を書いていただきましたが、満足度100%でした。